

“戦略マネジメントゲーム”のご紹介

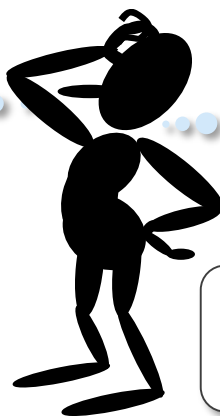
経営感覚を養成するビジネスマネジメント研修

企業決算シミュレートを通して、全社員が経営層目線で利益が出る仕組みを体感できるサービス

こんな疑問ありませんか？

“経営目線”って
どうやったら身につくの？

計数管理の世界って
とっつきにくい…



PDCAサイクルって
具体的に何するの？

活用例

- ・ 社内教育(幹部社員、新入社員)
- ・ 得意先向け研修
- ・ 社内・外の関係構築 など

戦略マネジメントゲーム(MG)は、

“本当の意味で役に立つ能力” を習得するための研修メニューです。

- ・ 昭和51年(1976年)に開発されたビジネスゲームの一種であり、大手キャリアや外資系ファッション企業をはじめとした多くの企業で幅広く導入されています。
- ・ 次期経営層候補、経営企画部門、営業部門のマネージャーや担当、情報システム部門のメンバーから、店舗スタッフや新入社員まで、あらゆる方にご参加いただけます。

サービスの概要

- 参加者が社長となり、会社設立／経営判断(店舗投資、人材雇用、商品仕入・販売)／取引記帳／結果分析／次期計画策定までの一連の会社活動を通し、利益を上げ、最終的な自己資本の額を競います。



《ゲームのイメージ》

- ① **会社設立**
4~6名が1グループとなり、各プレイヤーは会社の社長となり、1卓を囲み他のプレイヤーと会社経営を競い合います。
- ② **経営シミュレーション**
他のプレイヤーと競い合いながら、人材採用・設備投資・商品仕入・品出し・商品販売などの意思決定を行いながらゲームを進めます。(取引はすべて記帳)
- ③ **決算書の作成**
ゲームが1期(60分前後)終了するごとに決算を行い、財務諸表(B/S、P/L)を作成します。
- ④ **経営の振り返り・経営計画の作成**
第2期以降は、前期の決算分析を行い経営を振り返り、次期の経営計画を作成し、戦略的な経営を行います。

戦略MGで身につく8つの能力

- 参加者ひとりひとりが経営目線に立って、考え・判断し・試行し続けるプロセスを体感することで、“本当の意味で役に立つ”能力が身につきます。

- **情報創造力**

高度に降り注ぐ情報を組み合わせて付加価値を創造する力

- **計数力**

資金の動きから損益分岐点のコントロールまで「ヒト・モノ・カネ・情報」の4資源の動きをダイナミックに掴んで行動する力

- **シミュレーション感覚**

常に「予測」と「変化」に対するシミュレーションを頭に描く感覚が、戦略・戦術を発想する原点となる

- **先見力**

情報に対する「気配り」から生まれ、変化から明日を類推する力

- **自己革新力**

常に現状に甘えることなく、明日に向かってチャレンジする力

- **決断力**

経営は元々先のわからないことをリスクを背負って実施するもの。市場や環境の変化を見据えて早く的確に意思決定できる力

- **行動力**

他人を自分の意見に引き込む説得力を持ち、強い意志で行動できる力

- **企画力**

既存の事業はすぐに陳腐化する。現状に満足せず、独創性を発揮して新事業・新商品を企画する力

実施イメージ例

- 1日コースの例です。（2日間コースも可能です。参加者数・グループ数などご相談ください。）

日程	時間	カリキュラム	内容	備考
1日目	9:00~9:30	会場設営・準備		
	9:30~10:00	開講・イントロダクション① ※会社設立	概要説明・ルール説明等	概要説明・ルール説明等
	10:00~10:30	MG進行手順 ●第1期経営シミュレーション (同時進行)	創業期(第1期)同時進行 ~休憩 5分程度~	説明と同時並行で実施 ※全員同じ
	10:30~11:00		実習の基本ルール説明	ルールを説明しながら残り時間で実践
	11:00~11:40		決算書作成	
	11:40~12:40	昼休み		
	12:40~13:40	●第2期経営シミュレーション (試行錯誤の経営)	経営実習	
	13:40~14:20		決算書作成	各自の結果共有
	14:20~14:30	休憩		
	14:30~15:30	イントロダクション②	第2期の振り返り 経営計画の作成	※計画作成ワーク時間含む
	15:30~16:30	●第3期経営シミュレーション (計画経営の実践)	経営実習	
	16:30~17:10		決算書作成	
	17:10~17:30	クロージング・振り返り	計画の振り返り 等	※時間が許す限り結果の共有と振り返り ポイント資料の説明等

※このカタログにはGetty Imagesの画像を使用しています。

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2017年7月

お問い合わせ先

株式会社 富士通総研

コンサルティング本部 民需グループ

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝 サウスタワー TEL:03-5401-8406